

2024年11月19日

[配信枚数4枚]

発信元 滋賀大学広報課

報道関係者 各位

対話・協働を通じて、教育DXのあり方を考える

サイエンスアゴラ in 滋賀を開催

滋賀大学では、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、「JST」という）と連携し、教育DXをテーマに「サイエンスアゴラ in 滋賀」を開催します。多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、未来の学校教育のあり方を考えるイベントを是非、ご取材ください。

【サイエンスアゴラ in 滋賀】

日時：2024年12月8日（日） 13:00～17:00

場所：滋賀大学大津キャンパス（滋賀県大津市平津二丁目5-1）

対象者：どなたでもご参加可能です

- ・教員、教員を目指す学生、自治体の教育委員会の方、教育系の企業の方
 - ・教育DXや未来の学校教育について興味関心のある方 等
- ※お子様（乳幼児・小学生）も一緒にご来場いただけます

参加費：無料

[背景・目的]

教育現場に新しい科学技術を導入する際には、様々な倫理的・法的・社会的課題が予見され、また、実際に問題が起きつつある国や地域があります。

こうした現状を踏まえ、この度、滋賀大学は、JSTと連携し、教育DXを推進することを目的として、「サイエンスアゴラ in 滋賀」を開催します。

サービス開発をする企業、学校で働く教職員及び児童・生徒等様々な立場の方にご参加いただき、未来の学校教育のあり方を皆様と一緒に考えていただく機会となることを目指します。

[概要]

教育ICT関係者、学校教諭、教育委員会関係者及び研究者等様々な立場の方からご講演いただき、パネルディスカッションも行います。その後、意見交換会・交流会として、参加者の皆様が抱えている課題等を共有する場を設け、コーヒーやお菓子を片手に、和やかな雰囲気の中、未来の学校についてフリーディスカッションを行います。

また、オンラインにて海外とも繋げ、海外事例や参加者の皆様が感じた「ドキドキ」・「モヤモヤ」を紹介しつつ、ラジオ番組風のトークセッションを行います。

なお、本シンポジウムは、JST の社会技術研究開発センターが推進する『科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム』に採択された「教育データ活用 EdTech（エドテック）の ELSI 対応方策の確立と RRI 実践」（代表者：加納圭）の一環で実施します。

●サイエンスアゴラとは

JST が主催するあらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。異なる分野・セクター・年代・国籍を超えた関係者をつなぎ、この広場に集まる人たちが多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、これからの「社会とともにある科学」と「科学とともにある社会」の実現を目指します。



サイエンスアゴラ HP

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学教育学部 担当：教授 加納圭

TEL：077-537-7797 E-mail：kkano@edu.shiga-u.ac.jp

どうなる？
どうする！？

教育

DX

教育現場に新しい科学技術を導入する際には、さまざまな倫理的・法的・社会的課題（ELSI）が予見されたり、実際に問題が起きつつある国や地域があったりします。事前に想定することが難しい課題もあれば、限られたステークホルダーのみでは対処できない課題も。

サービス開発をする企業や、学校で働く教職員、児童・生徒など、さまざまな立場から、現状や課題を共有することが、これからの教育 DX の推進のためには必要です。

未来の学校教育のあり方をみなさんと一緒に考える1日にしましょう。



サイエンスアゴラ in 滋賀

2024/12/8 日

13:00-17:00 (開場 12:30)

@ 滋賀大学 大津キャンパス

●無料シャトルバス運行
(JR 石山駅より)

●駐車場無料

参加無料

<https://www.shiga-u.ac.jp/28124/>



詳細は
こちら

会場 滋賀大学 大津キャンパス(教育学部) 大中講義棟 大講義室ほか

定員 100人程度

対象 どなたでも

教員、教員を目指す学生、自治体の教育委員会の方、教育系の企業の方、また、教育 DX や未来の学校教育について興味関心のある方など。

*お子様(乳幼児・小学生)も一緒にご来場いただけます。

(第1部は質問可能な隣接中継会場でお子様と一緒にご参加ください。)

申込み方法 ウェブフォームより、必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/DotnsBGuarSqN5dy5>

*11月30日(土)までにお申し込みをお願いします。

*会場準備の都合上、事前申込をお願いしておりますが、当日のご参加も受け付けます。



問合せ先 滋賀大学 教育学部 加納圭研究室

[edtech.elsi\[at\]gmail.com](mailto:edtech.elsi[at]gmail.com) ([at] を @ に変更してお送りください)

主催：滋賀大学 / 共催：JST/ 協力：大阪大学 社会技術共創研究センター(ELSI センター)

※本シンポジウムは、JST-RISTEX『科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題(ELSI)への包括的実践研究開発プログラム』

「教育データ活用 EdTech(エドテック)の ELSI 対応方策の確立と RRI 実践」(代表者：加納圭)の一環で実施します。

13:00-13:10 オープニング 趣旨説明 加納 圭 (滋賀大学教育学系 教授)

第1部

どうなる？ 教育 DX @大中講義棟 大講義室

総合司会：水町 衣里 (大阪大学 ELSI センター 准教授)

- 13:10～ **教育 DX と学習 e ポータル**
石坂 芳実 (一般社団法人 ICT CONNECT 21 フェロー)
- 13:20～ **DX ハイスクールの実践報告：高校の現場から**
木村 和人 (京都市立西京高等学校 教諭)
- 13:30～ **草津市情報化推進計画について**
原田 真弓 (草津市役所 教育委員会事務局 学校政策推進課)
- 13:40～ **パネルディスカッション**
登壇者：石坂 芳実、木村 和人、原田 真弓 / 進行：塩瀬 隆之 (京都大学総合博物館 准教授)

【実践編】

14:00～14:10 休憩

総合司会：堀口 悟郎 (岡山大学法学部 教授)

- 14:10～ **教育のため・教育における人工知能 (AI for/in Education)**
原山 優子 (GPAI 東京専門家支援センター センター長 / RInCA プログラムアドバイザー)
- 14:20～ **その EdTech、マズくない？ 炎上を未然に防ぐには**
岸本 充生 (大阪大学 ELSI センター センター長)
- 14:30～ **世界一周調査 (OECD・スウェーデン・米国・韓国) に基づくグローバル動向**
若林 魁人 (大阪大学 ELSI センター 特任研究員)
- 14:40～ **パネルディスカッション**
登壇者：原山 優子、岸本 充生、若林 魁人 / 進行：神崎 宣次 (南山大学国際教養学部 教授)

【俯瞰編】



第2部

どうする！？ 教育 DX

●15:00～17:00 意見交換・交流会 *入退室自由です。

Room 1 ラウンドテーブル「どうする！？ 未来の学校」@講義棟 アクティブラーニング室

このルームは、未来の学校にまつわるあれこれ、来場者のみなさんが抱えている課題、思い出したエピソードなどを、共有する場です。コーヒやお菓子を片手に、来場者のみなさんと一緒に、未来の学校について語り合います。

世話人：後藤 崇志 (大阪大学大学院人間科学研究科 准教授)、吉岡 久恵 (パブリックコメント普及協会 代表)



Room 2 RADIO ELSI「世界の EdTech から」@講義棟 ラーニング・コモンズ

このルームでは、教育データを利活用する EdTech (Educational Technology, エドテック) の海外事例を紹介しつつ、これからの教育 DX を考えたいと思います。みなさんが感じた「ドキドキ」や「モヤモヤ」を、ぜひ“お便り”としてお寄せください。お寄せいただいた“お便り”を紹介しつつ、その内容を元に、ラジオ番組風のトークセッションを行います。

ゲスト

- **フィンランドについて**：矢田 匠 (ユヴァスキュラ大学フィンランド国立教育研究所 Postdoctoral Researcher)
- **米国について**：佐藤 仁 (福岡大学人文学部 教授)、高橋 哲 (大阪大学大学院人間科学研究科 准教授)、藤村 祐子 (滋賀大学教育学系 准教授)
- **オーストラリアについて**：加納 圭 (オーストラリア国立大学 客員研究員)
- **OECD グローバルフォーラム参加経験から**：神崎 宣次 (南山大学国際教養学部 教授)
- **世界一周調査の経験から**：若林 魁人 (大阪大学 ELSI センター 特任研究員)

フィンランドから中継！

米国から中継！

世話人：村上 正行 (大阪大学全学教育推進機構 教授)

